


分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	222	介護等への支援の充実
<b>5年後の目標</b>		認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人や家族が住み慣れた地域で最期まで安心して生活できている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	認知症施策総合推進事業		会計	款	項	目	19,758,837	高齢介護課
			介護	3	3	2		
事業の概要								
初期集中支援事業や認知症対応型カフェ事業等の充実を図り、認知症の早期発見から症状に応じた適切な対応まで可能となる体制の構築に努めます。また、サポーター養成講座やおでかけあんしん見守り事業の拡充により、認知症の人を地域で見守り、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備します。								

平成29年度の取組								
D (取組)	指標	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)					単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	3,263 (平成26年度)	目標	4,800	5,600	6,400	7,200	8,000	
		実績	5,128	5,798				
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームとして延べ24ケースを支援しました。</li> <li>認知症対応型カフェを新たに1か所設置し、計9か所となりました。</li> <li>認知症サポーター養成講座を27回実施し、受講者は延べ670人でした。地域住民や小中学生など幅広い世代の方が受講されました。</li> <li>おでかけあんしん見守り事業では昨年度に引き続き、登録者にブルートゥースタグを配布し行方不明発生時の発見手がかりとなることもありました。また、他府市町、警察と連携し、広域で行方不明者捜索模擬訓練を実施しました。</li> </ul>						行方不明者捜索模擬訓練の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—		—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療介護の連携が強化された結果、初期集中支援チームが、認知症の方やその家族に早期の段階から介入し、生活環境等を整える体制が構築されています。また、地域包括支援センターとの連携により、集中支援終了後においても継続した支援が可能となっています。</li> <li>講座受講者が目標以上の人数となるなど、認知症サポーターの養成が進んでいます。また、認知症対応型カフェの設置が市内9か所となり、認知症の方と家族が気軽に通い、相談できる環境が整ってきています。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年性認知症と診断された、または罹患の疑いがある方やその家族への支援体制整備が十分に整っていません。</li> <li>地域の見守りの中で誰かが支援の必要性に気づいても、本人や家族の意向により早期の関わりを持ちにくい場合があります。</li> </ul>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルートゥースタグ受信器が増設され、おでかけあんしん見守り事業が拡充されることにより、認知症の方が行方不明になった際の早期発見が期待されます。受信器増設に合わせて、改めて地域包括支援センターやケアマネジャーにおでかけあんしん見守り事業の周知を行うことで、事前登録や受信器の利用が必要な方への啓発を行います。</li> <li>認知症サポーター養成や認知症対応型カフェの活動を通じ、より多くの方に若年性認知症を含めた認知症やその支援制度について周知すると共に、養成講座及びカフェでの活動内容の充実を図ります。また、行方不明者捜索模擬訓練を実施し、地域での見守りの重要性を啓発していきます。</li> </ul>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	222	介護等への支援の充実
<b>5年後の目標</b>		認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人や家族が住み慣れた地域で最期まで安心して生活できている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	民間老人福祉施設等整備・運営支援事業		会計	款	項	目	162,839,000	高齢介護課
			一般	3	1	2		
事業の概要								
一人暮らしや高齢者世帯の増加などにより、安心して住み慣れた地域で生活が継続できる環境整備が求められており、また家族の介護を理由とした介護離職が課題となっていることから、特別養護老人ホームなどの施設整備を計画的に促進します。また、事業所が安定かつ適切な運営を行えるよう支援します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	特別養護老人ホーム数				単位	施設
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	6	7	7	7	8
	5(平成26年度)	実績	6	7			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員29名の1施設が開設されました。同施設に対して、地域密着型サービス拠点等整備補助金を交付しました。</li> <li>・3事業所に民間老人ホーム等施設振興補助金を交付し、事業所が安定かつ適切に運営できるよう支援を行いました。</li> </ul>							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・第7期介護保険事業計画に基づいて、特別養護老人ホームの開設数を設定しており、計画通りに遂行しています。
課題等	・施設入所希望者は、今後も増加すると見込まれているため、一定の施設整備が必要です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・施設系サービス(認知症グループホーム、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等)の整備状況などを踏まえながら、長岡京市第7期介護保険事業計画に基づき、整備を進めます。